

令和8年度実施教育課程

兵庫県立姫路別所高等学校

令和8年4月2日

学年	類型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年 (52回生)	共通	現代の 国語		言語 文化		歴史 総合		数学Ⅰ			数学 A		化学 基礎		体育			保健	音楽 美術 書道 ⅠⅠⅠ		英語 コミュニケーションⅠ		論理 表現Ⅰ		家庭 基礎		情報 Ⅰ	探究の 時間	総合 的な		H R

*理系は全員数学B、文Ⅰは数学Bも選択可

学年	類型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年 (51回生)	理系	自己探究	論理国語	古典探究	数学Ⅱ			物理基礎		化学		英語 コミュニケーションⅡ			公共		体育		保健		論理表現Ⅱ		生物基礎		数学B	選択A	総合的な探究の時間	H R			
	文Ⅰ			古典探究		日本史探究			数学Ⅱ		英語 コミュニケーションⅡ			国語探 究A																	
	文Ⅱ			論理国語	古典探究		地理総合		探究	日本史	数学Ⅱ		英語 コミュニケーションⅡ			公共	体育	保健	論理表現Ⅱ	生物基礎	選択B	選択A	探究の時間	総合的な	H R						
	選択A 2時間連続	情報実習、簿記、美術Ⅱ、ペン習字、Basic English、理数化学(理)							自己探究群	医療とホスピタリティA、保育音楽、生活と福祉、情報実習										選択B		情報実習、簿記、音楽Ⅱ、書道Ⅱ、国語基礎実践、総合スポーツ、実用数学基礎									
	総合探究	探究活動Ⅰ												※簿記は4単位必修 ※情報実習は、2単位と4単位で開講																	

* 特色入試入学生徒についての注意点

- ・「商業」を希望して入学した生徒は、文Ⅱに所属し、簿記を履修すること。
- ・理系、文Ⅰに所属する場合、選択Aにおいて、自己探究群のいずれかの科目を、入学時の希望に沿って選択する。
- ・文Ⅱに所属する場合、自己探究群及び、情報実習、簿記のうちのいずれかの科目を、入学時の希望に沿って選択する。
- ・希望者多数の場合、特色科目に関しての受講を優先される。

* 全生徒対象の年度をまたいでの注意点

- ・選択科目の国語基礎実践、ペン習字は2単位まで。2～3年の継続履修はできない。

* 理数化学は理系の生徒が受講できる。

学年	類型		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
3年 (50回 生)	理系	自己探究	論理 国語	古典 探究	地理 総合	数学Ⅲ			数学C			物理 生物			化学	英語 コミュニケーションⅡ		体育	論理表現Ⅱ	選択 ア	総合的な 探究の時間	H R											
						数学探究B			国語探 究B																								
						論理 国語		古典 探究		国語探 究B		日本史探究		地理 総合		数学Ⅱ							応用 理科Ⅰ	地学 基礎	英語 コミュニケーションⅢ								
	文Ⅰ	論理 国語		古典 探究		日本史 探究			政治・ 経済		数学Ⅱ		地学 基礎		体育		英語 コミュニケーションⅡ		論理表現Ⅱ		情報と 管理表現		選択 イ	選択 ア	総合的な 探究の時間	H R							
		文Ⅱ	論理 国語		古典 探究		日本史 探究			政治・ 経済		数学Ⅱ		地学 基礎		体育		英語 コミュニケーションⅡ		論理表現Ⅱ		情報と 管理表現											
選択ア 2時間連続			情報活用、原価計算、ボランティア実践、応用理科Ⅱ（理・文Ⅱ） ビジュアルデザイン、フードデザイン、 演奏研究、日本史研究、ACTIVE ENGLISH															選択イ		情報活用、財務会計Ⅰ、情報コミュニケーション、 ヒューマンライフ、総合スポーツ、ペン習字、 国語基礎実践													
総合探究		探究活動Ⅱ															※情報活用は4単位必須、原価計算と財務会計Ⅰはセットで選択。																

* 全生徒対象の年度をまたいでの注意点

- ・選択科目の国語基礎実践、ペン習字は2単位まで。2～3年の継続履修はできない。
- ・3年選択原価計算と財務会計Ⅰを受講できる生徒は、2年選択簿記を履修している生徒に限る。

* 選択Aの応用理科Ⅱは理系・文Ⅱの生徒が受講できる。